

第 2 学年	英語科	使用 教科書等	TOTAL ENGLISH 2 (学校図書)	担当 教員	延澤 遥子
--------	-----	------------	------------------------	----------	-------

**【学習の目標】**

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

**【授業の進め方や授業のポイントは何？】**

読む・書く・聞く・話すのうち、特に授業で焦点を当てるのは、「読む・聞く・話す」の3つの観点になってくると考えられます。パターンプラクティスやリピート、ペアワークといった口頭練習を通してとにかく使い慣れる、口で覚えることに焦点を当てる。またクラスメートや教師（ALT）の英語を聞くことによって、リスニングの力を培いましょう。家庭学習では、書くことによって文字として認識し、表現力を付けるようにしましょう。

**【どのような家庭学習をすればよいの？】**

宿題（単語練習プリント）  
授業で使ったワークシートの復習（間違い直し等）  
小テスト勉強（あらかじめ範囲を指定する）  
問題集での復習（定期的にチェックする）

**【通知表のつけ方】**

評価の観点	何で頑張りを見るの？
意欲・関心・態度	問題集やノート・ファイルの提出点 授業中の態度・発表の回数
表現の能力	リーディングテスト 定期テスト（英作文・空欄補充等）
理解の能力	定期テスト（英文読解問題） リスニングテスト
言語や文化への知識・理解	小テスト 定期テスト（語彙や文法事項の知識理解） 宿題

**【1年間の授業計画】**

学期	学習する内容は？	ここで付けたい力は？	授業で使うもの	学期	学習する内容は？	ここで付けたい力は？	授業で使うもの
1 学期	<Chapter 1> 過去形	「～しました」と、現在とは断ち切られた過去のことを説明したり、過去の気分や気持ちを表す表現ができる。	教科書 ノート ファイル	2 学期	<Chapter 3 > 不定詞	不定詞（to+動詞の原形）を学び、「～すること」「～するために」「～するための・・・」の3つの用法を理解し、使えるようになる。	教科書 ノート ファイル
	過去進行形	過去に「～していました」と、過去のある時点の状態を説明することができる。			動名詞	「～すること」という時は、不定詞の他に動名詞（動詞+ing形）を用いることを理解し、使えるようになる。2つのものを比べて「AはBよりも～」と言いたい時は、比較級を、3つ以上のものを比べて「最も・一番～である」と言いたい時は、最上級を使う。その区別をしっかりと理解し、自分で何かを比べることができる。	
	「～があります」	「～に・・・があります」とものや人の存在を表すことができる。					
2 学期	<Chapter 2> 未来の形 (will / be going to) 助動詞 (shall / may / must)	「～するでしょう」と未来のことを予測したり、「～するつもりです」と意志を表すことができる。 助動詞を用いることで、依頼をしたり、申し出たり、許可を求めたり、さまざまなニュアンスを理解し、表現ができる。	教科書 ノート ファイル	<b>※定期テストの予定</b> 1学期 春休み課題テスト、標準学力テスト、期末テスト 2学期 夏休み課題テスト、中間テスト、実力テスト、期末テスト 3学期 冬休み課題テスト、実力テスト、学年末テスト			